

結婚なんて言わないで

◎登場人物

タカシ

キリコ

部屋で一人寛ぐタカシ。
そこにキリコが入ってくる。

キリコ ただいまー。
タカシ あー、おかえり。

鞆を降ろすキリコ。

キリコ タカシご飯は？
タカシ 食べた。

キリコ 何食べたの？
タカシ なんでもいいじゃん。

キリコ そう。
タカシ 何食べたの？

キリコ 私？ 私はフレンチ。
タカシ は？ 贅沢すぎるだろ！

キリコ たまにはいいでしょ。
タカシ フレンチなんて、誰と食べたんだよ！

キリコ 嫉妬？
タカシ んなわけないだろ。

キリコ 職場の先輩。
タカシ 男？

キリコ やっぱり嫉妬だ。
タカシ フランス料理にね。

キリコ タカシも今度連れてってあげるよ。あ、でもダメか。タカシスーツ持
ってないもんね。ジャケットも持ってないし、ドレスコードNGだ。
タカシ うるせーよ。

しばし無言の二人。

タカシ あのさ。
キリコ 何？

タカシ お金欲しいんだけど。

キリコ は？

タカシ お金、飯食ったらなくなったから。

キリコ ……。

タカシ 5万くらいでいいんだけど。

キリコ ……。

タカシ ねえ。聞ってる？

キリコ ……。

タカシ お金。

キリコ ……。

タカシ おい。無視すんなよ！

キリコ ねえタカシ、話があるの。

タカシ 話？

キリコ こっち来て。ちゃんと話そう。

タカシ なんだよ。どうせ働けとか言うんだろ？ いいよもうそういうのは。

キリコ ちゃんと聞いて！

タカシ 怒るなよ。

キリコ 大切な話なの。

タカシ わかったよ。(席を移動して)で。何？

キリコ ……タカシにとって、私ってなんなのかな？

タカシ なんだよ急に。

キリコ しやべるA T Mって感じ？

タカシ ……別にそんな風には思ってたねえよ。言っとくけど、そんな話なら聞

く気ないから。

キリコ ごめん。ちがうの。

タカシ 何が？

キリコ 私が言いたかったのはそういうことじゃなくて。

タカシ もったいぶんなよ。さっさと言えよ。

キリコ 私、結婚することにした。

タカシ は？

キリコ 結婚することにしたの。

タカシ は？

キリコ もう決めたの。

タカシ おいちょっと待てよ。どーゆーことそれ？ 俺は？

キリコ 毎日毎日働いてあなたにお金渡して、もう疲れたの。私だって自分のために生きたいの。

タカシ ふざけんなよ！ そんなの裏切りだろ！ 許せるかよ！

キリコ 許されなくてもいい。

タカシ はあ？ ……急すぎるだろ。普通さ、そういうことは俺に相談してからにすべきなんじゃないの？

キリコ 相談なんかしたって、ダメっていうだけでしょ。

タカシ 当たり前だろ！ いいよなんて言うわけないだろ。

キリコ でしょ？ だから決まるまで何も言わなかったの。

タカシ ……いつからだよ？

キリコ え？

タカシ いつから付き合ってたんだよ！

キリコ 2年前くらい。

タカシ そんなに前から？

キリコ うん。

タカシ よくそれで俺の前で平然と過ごせたな！

キリコ ごめん。

タカシ ごめんじゃねえよ！

キリコ でも、もう決めたことだから。

タカシ なんだよ。……言っただじやんかよ！

キリコ 何？

タカシ 昔さ、俺が本気で落ち込んだ時に、私はいつでもタカシの味方だったって、ずっと一緒にいるって……言っただじやんかよ！

キリコ 言っただよ。

タカシ 嘘つくのかよ！

キリコ 子供みたいなこと言わないで！ 人の気持ちは変わるものでしょ。

タカシ ……この家は？

キリコ 私が出て行く。後はあなたの好きにしろ。

タカシ 好きにしろったって、家賃払えなきゃ住めないじゃんか！

キリコ じゃあ出て行けば？

タカシ 何他人事みたいに言ってるんだよ。

キリコ 私とあなたは他人にはならないけど、会わなくなれば他人みたいなものでしょ？

タカシ もう会う気ないってことかよ。

キリコ うん。

タカシ あのさ、じゃあ、例えば、一緒に住むとかさ？

キリコ は？ 何寝ぼけたこと言ってるの？ そんなことできるわけないですよ。

タカシ じゃあせめてお金だけでも！

キリコ ……ほら、それが本心じゃない。

タカシ ……。

キリコ お金はね、自分で稼げばいいでしょ。

タカシ 無理だよ！ 今までできてなかったんだから急にできるわけないだろう！

キリコ だからもうあなたのことは知らないって言ってるの。

タカシ ……本当に結婚するの？

キリコ うん。

タカシ そうか。

キリコ もう限界なの。これ以上あなたとは一緒にいけない。

タカシ もう無理なのか。

キリコ 無理。私、自分でも精一杯頑張ってきたと思う。もう十分。

タカシ ……。

キリコ じゃあ、もう出て行くから。

タカシ もう？ もう出て行くのか？

キリコ うん。

タカシ 式は？

キリコ 呼ぶわけないでしょ。相手のことも新しい住所もなーんにも教えない。

あなたは絶対邪魔しに来るから。

タカシ そんなことしねーよ。

キリコ 私の中であなたの信用はもうゼロなの。何を言っても無駄。でも、私にも良心はある。

タカシ 良心？

キリコ あなたが真面目になって、ちゃんと働いて、ちゃんとした男になった
ら会うことくらいはしてあげる。私もこれがきっかけになってあなたがそう
なってくれると嬉しい。

タカシ 勝手だよ。

キリコ 勝手なのはあなたでしょ。

タカシ いや、勝手だよ。

キリコ じゃあね。

キリコ、部屋を出て行く。

タカシ 待つて。

キリコ さようなら。

タカシ 待つてよ！ 母さん！

キリコ また会えるといいね。

タカシ 母さん！

扉の閉まる音。

その場で打ちひしがれるタカシ。

タカシ(モノローグ) 母さんが再婚する。十年前父さんが死んで、女手一つで俺
を育ててくれた母さんが。母さんが俺を産んだのは十六歳。今の俺の方が全
然年上だ。よく育てたな。誰も育ててくれなんて頼んじやいないのに。俺な
んて、産まなきゃよかったんだ。だって十六だろ？ まだ高校生じゃなか。
普通堕ろすだろ。なんで、なんで結婚なんてしたんだ。俺のため？ 若気の
至り？ 父さん、どうして父さんは母さんに「結婚しよう」なんて言ったの？
俺のこと、ちゃんと育てる前に死んだくせに。父さんが死んで、俺は引き籠
もった。俺は親父のことが大好きだった。でも母さんは、そうでもなかった
のかな。そうでもないのに、結婚したのかな。勝手だよ。母さんは勝手だ。
俺が勝手に俺を産んだくせに勝手に俺を捨てていくんだ。母さん……。ねえ、
なんでだよ母さん。結婚なんて……。結婚なんて言わないでくれよ。

幕。